

熱中症警戒アラート

参考:「熱中症警戒アラート 全国運用中」(環境省) (https://www.wbgt.env.go.jp/pdf/pr/20220427_alert_leaflet.pdf)
「熱中症予防情報サイト」(環境省) (https://www.wbgt.env.go.jp/)を加工して作成

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に、都道府県ごとに発表されます。発表された情報はテレビ、防災無線、SNSを通じて発信されます。

WBGT(暑さ指数) ~運動に関する指針~

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)	熱中症予防運動指針
35℃以上	31以上	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31~35℃	28~31	厳重警戒 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や体温が上昇しやすい運動は避ける。10分~20分おきに休憩をとり、水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さに慣れていない人などは運動を軽減または中止。
28~31℃	25~28	警戒 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24~28℃	21~25	注意 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要。

発信

報道機関(テレビ・ラジオ)

SNS

防災無線

暑さ指数が28を超えると熱中症にかかる人が急増

▼ 配信サービスを活用しましょう ▼

個人向け

熱中症警戒アラート
メール配信サービス

配信システム: 登録(対象地域) → 利用者

熱中症警戒アラートが発表されたときメールでお知らせ。

個人向け

暑さ指数(WBGT)
メール配信サービス

配信システム: 登録(対象地域・配信レベル) → 利用者

より詳細な情報(暑さ指数の予測値・実況値)をお知らせ。

事業者向け

暑さ指数(WBGT)
電子情報提供サービス

環境省 CSV形式データファイル → 利用者(情報アプリ)

環境省が提供するオープンデータを直接ご利用いただくもので、メールによる提供サービスとは異なります。

LINE「環境省」LINE公式アカウント

熱中症警戒アラートや暑さ指数をお知らせ

アカウント名: 環境省
LINE ID: kanky_jpn

配信サンプル

左: 熱中症警戒アラート(暑さ指数33以上) 右: 危険(暑さ指数31以上)

通知画面で「熱中症予防対策を確認」のボタンをタップすると、熱中症警戒アラート発表時の予防行動や、暑さ指数の値に応じた対策等が表示されます。

●熱中症警戒アラート発表時の予防行動を表示した様子

ちゅーん豆知識

親しい間柄に邪魔が入ることのない状態を「水入らず」といいますが、由来には諸説ありますがお酒の飲み方が語源のようです。古来日本では、他人が口をつけた同じ盃で酒を飲み交わし、親愛の情を示す「献杯」や「返杯」というものがあります。現代では「盃洗」と呼ばれる盃を水ですすぎ返す儀式が加わりましたが、「水で洗わない」ことで親愛を表現していたことに由来しています。

レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

検索 **メルマガ配信中!**

安全ニュースのご活用についてのお願い

弊社は皆様の安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。

- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で転写・複製・複製・再複製・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

レンタルのニッケン 公式Twitter 情報発信中!

フォロー宜しくお願います!

安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください **e-mail: nikken@rental.co.jp**

NIKKEN

安全ニュース

Safety news

お客様の安全作業のために。

2023年
5月号
No. 257

編集・発行 株式会社レンタルのニッケン 安全技術部/営業企画部 お問い合わせ TEL.03-5512-7411

特集 水防月間

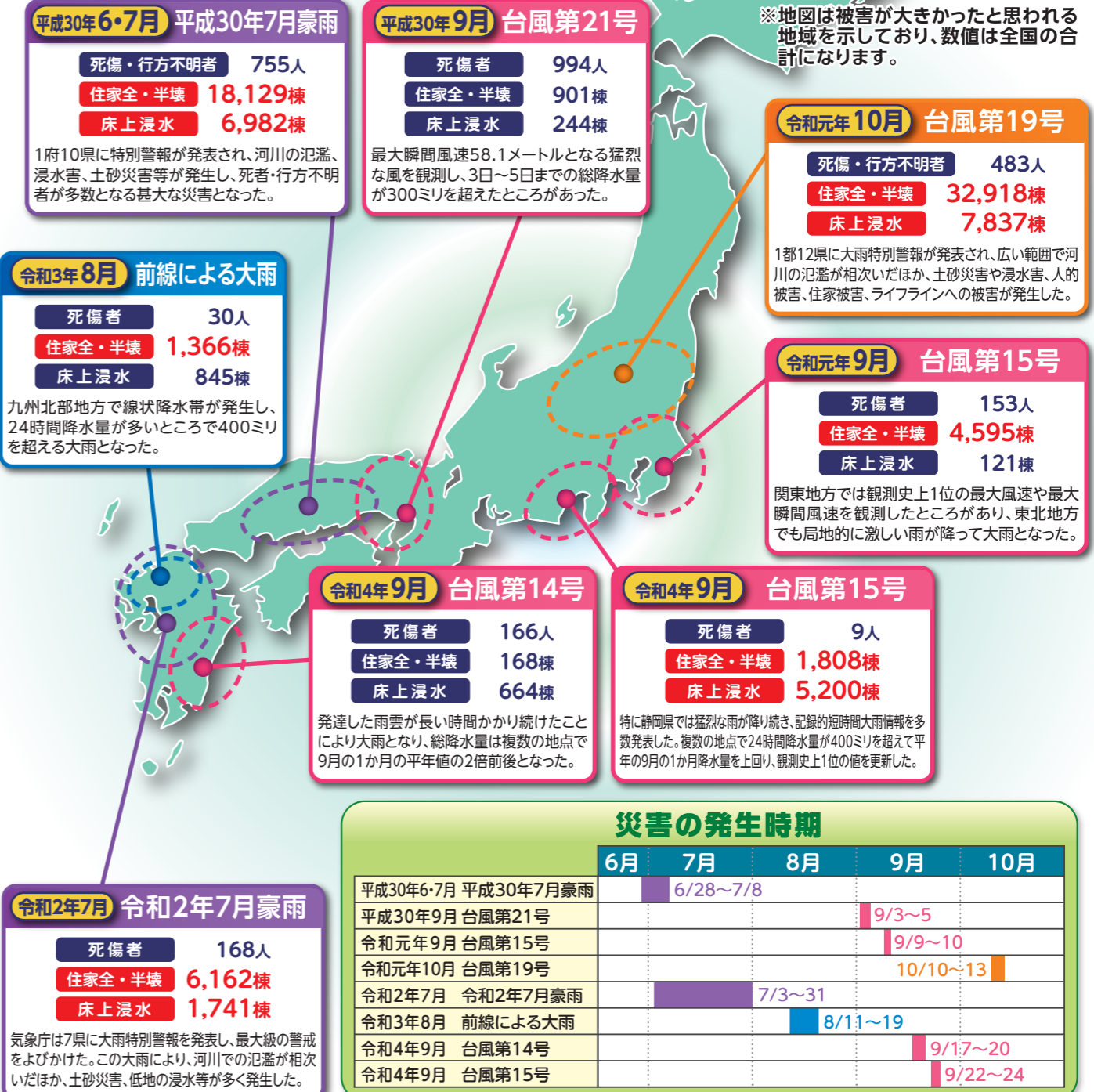
目次

- 顕著な災害を起こした自然現象(水害)
- 避難について知っておこう・考えておこう
- 川の情報をリアルタイムで確認「川の防災情報」
- 熱中症警戒アラート

2023年6月号の予告
全国安全週間
環境月間

顕著な災害を起こした自然現象(水害)

※参考:「災害情報一覧」(総務省消防庁) (https://www.fdma.go.jp/disaster/info/)
「災害をもたらした気象事例(平成元年~本年)」(気象庁) (https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/index_1989.html)
「令和元年房総半島台風(台風第15号)による対応」(国土交通省関東地方整備局) (https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index0000050.html)
「令和元年台風第19号による被害等」(国土交通省) (http://www.mlit.go.jp/river/shinngkai_blog/hazard_risk/dai04kai/dai04kai_sankosiryu01.pdf)を加工して作成



災害の発生時期

	6月	7月	8月	9月	10月
平成30年6・7月 平成30年7月豪雨		6/28~7/8			
平成30年9月 台風第21号				9/3~5	
令和元年9月 台風第15号				9/9~10	
令和元年10月 台風第19号					10/10~13
令和2年7月 令和2年7月豪雨		7/3~31			
令和3年8月 前線による大雨			8/11~19		
令和4年9月 台風第14号				9/17~20	
令和4年9月 台風第15号				9/22~24	

★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★

川の情報をリアルタイムで確認「川の防災情報」

参考:[カワナビ] (国土交通省 水管理・国土保全局) (<https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/observe/vol8.html>) を加工して作成

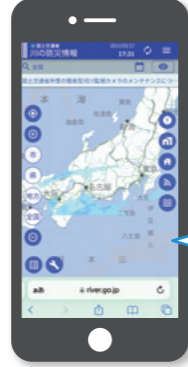
ウェブで日本全国の川の情報を分かりやすく表示

PC版



<https://www.river.go.jp>

スマホ版



洪水予報をはじめ、様々な情報が手に入るウェブサイト、それが国土交通省の「川の防災情報」です。雨がどの程度降っているかわかるレーダー雨量と、洪水予報が出ている地域が一目でわかります。

登録不要で、使える!さらに、気になる場所の「地点登録」が可能!

雨が降る前の備えにも活用

スマホの方は以下より

スマホで確認できいつでも水害に備える

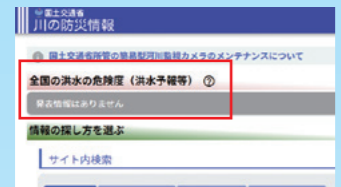


天気が気になったら...

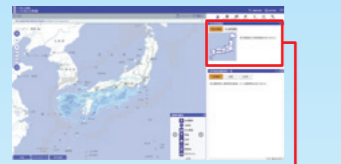
まずはこの3つが要チェックです!

洪水予報

トップページの「全国の洪水の危険度 (洪水予報等)」を確認。



「地図から探す」からもエリアに分けて表示が可能です。



川の水位

「地図から探す」より確認したいエリアを表示。凡例と照らし合わせて状況を確認。

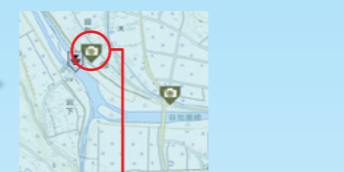


また、より詳しく確認したい箇所の凡例をクリックすると横断面図や時間ごとの水位変化も確認できます。



カメラ画像

川に設置されているカメラの画像にアクセスすることが可能。カメラによっては、普段の様子も表示され、比べて見ることができ状況の違いがはっきりと分かります。



現場からスマホで確認!

避難について知っておこう・考えておこう

参考:[令和3年5月20日から避難指示で必ず避難 避難勧告は廃止です] (内閣府) (http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/poster.pdf) を加工して作成

避難情報が2021年5月20日から新しくなりました

避難勧告は廃止され、高齢者の方などは警戒レベル3で避難。警戒レベル4避難指示が出たら全員が避難です。大雨や台風などによる災害から命を守るため、日頃の備えと早めの避難を心がけましょう。

警戒レベル4 避難指示で必ず避難



警戒レベル	新たな避難情報等
5	災害発生又は切迫 緊急安全確保※1
～ 警戒レベル4までに必ず避難! ～	
4	災害のおそれ高い 避難指示※2
3	災害のおそれあり 高齢者等避難※3
2	気象状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報 (気象庁)

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません!

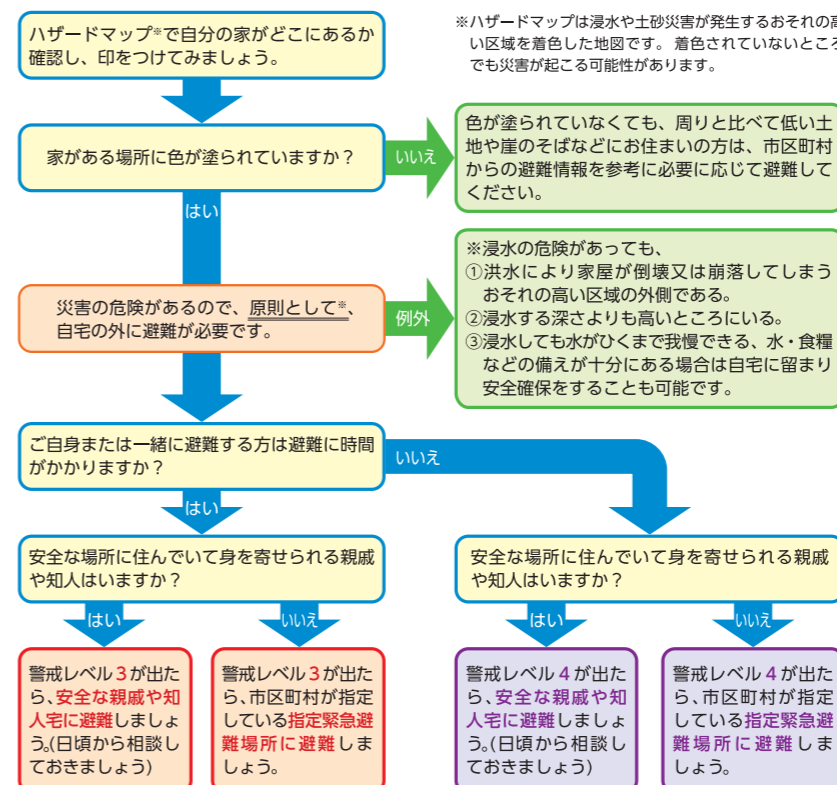
避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

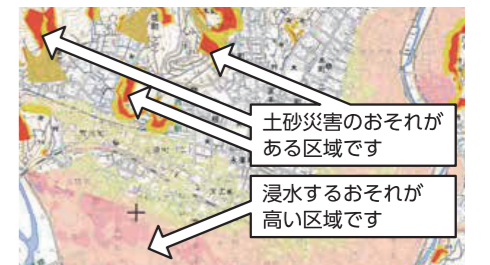
※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

参考:[わたしの「避難」について考えてみよう] (内閣府 防災情報のページ) (<https://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/houkoku/campaign.pdf>) を加工して作成

ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう



ハザードマップの見方



凡例

水害	土砂災害
洪水浸水想定区域 (浸水深)	土砂災害警戒区域: 土砂災害のおそれがある区域
3階床 5m~10m未満 (3階床上浸水~4階床下浸水)	土砂災害特別警戒区域: 建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域
2階床 3m~5m未満 (2階床上~1階床下浸水)	
1階床 0.5m~3m未満 (1階床上~1階床下浸水)	
1階床下 0.5m未満 (1階床下浸水)	

ハザードマップポータルサイト 検索

※ハザードマップの着色や凡例は市町村によって異なる場合があります。